



人命軽視ニッポンが迷走する

どうなる「五輪の夏」

早期発見の前に早期調査を

プロンプターを見ながら会見する
安倍晋三

大正9年＝1920年の
設立時から7年間、国際連
盟事務次長を務めた新渡戸
義次（ひなべ）の学び舎でもあるジョ
ンズ・ホップキンズ大学。

奴隸制廃止運動の先頭に
立った実業家で、平和主義
を掲げるクエーカー教徒の
慈善家でもあったジョン
ズ・ホップキンズの遺志を繼
ぎ1876年に開学。ワシ
ントンD.C.に隣接するメ
リーランド州ボルティモア
市に世界最古の公衆衛生大
学院を擁します。

同大学のシステム科学工
学センターは新型コロナウ
イルスCOVID-19の感
染状況を可視化した無料オ
ンラインマップを1月24日
に開設し、多様な指標の推
移を日々更新中。同センタ
ーと提携する英国の経済紙
「フィナンシャル・タイム
ズFT」も、世界各国・地
域の累積感染者数の折れ線

前々号で「コロナ狂騒曲」の指揮者を鋭く問うた田中康夫氏が、PCR検査をめぐって甲論乙駁の思考停止状態に置かれた「迷走ニッポン」を切開。感染拡大にそれぞれ科学的に向き合う諸外国の姿を伝えつつ、実態把握すらままならぬこの国の現状とその責任者を明らかにする。

ウイルスをやつづける最高
の季節がある」と教示した
のは、シンガポール政府が
感染者50名と発表した翌日
2月13日でした。

日本時間で丁度1ヶ月後の
3月13日、米国の金融情
報媒体ブルームバーグは
「検疫を始めとする2ヶ月
に及ぶウイルスとの格闘の
末に拡散が鈍化したアジア
各国から欧米が学ぶべき事
柄」と題する記事を配信。

イタリア、イラン、スペイ
ン、フランス、英国、米国
6ヶ国と、中国、韓国、シ
ンガポール、香港3ヶ国1
地域の数値が一目瞭然な折
れ線グラフを掲載。が、ア
ジアの盟主を自任するGD
P世界第3位の国名が何故
か見当たりません。

「未だに検査の絶対数
が少ないと批判される日本
では、数多くの未検出の感
染者が隔離されずにウイル
スを広範囲に拡散している

か見当たりません。

目を凝らすと本文で言
及。「未だに検査の絶対数
が少ないと批判される日本
では、数多くの未検出の感
染者が隔離されずにウイル
スを広範囲に拡散している

か見当たりません。

「検査態勢の充実」へと転換した米国

演壇脇の左右のプロンプ
ターに表示される原稿を見
遣りながら21分間、「現在
は飽く迄、感染拡大の防止
が最優先であります。そ
の後には日本経済を再び確
かな成長軌道へと戻し、皆
さんの活気溢れる笑顔を取
り戻す為、一気呵成に、こ
れまでにない発想で思い切
った措置を講じ、「全国
津々浦々、心を一つに、正
にワンチームで現在の苦境

を乗り越えていきたいと考
えています」。理念と氣概
を併せ持つ優れた指導者に
不可欠な、視座の高い発言
も忘れていません。

翌15日の日曜日、宅配さ
れた「日本経済新聞」の一
面右肩の見出し「米欧検
査拡充や企業支援 新型コ
ロナ対策総動員」を確認後、
僕はスポーツ紙を含む残り
全紙を購入しました。

グラフをコメント付きで提
供しています。
「早期に検出すべく徹底
した検査を実施」した韓国は
中国と同じく感染が沈静化
し、最高気温32℃ 湿度83
%の2月12日段階で感染者
が50名に達していたシンガ
ポールが抑制し得たのも、
「厳格な隔離基準と緻密な
行動追跡」が成果を上げた
からだと分析。
他方、極めて含意に富む
記述なのが日本です。「ウ
イルスの拡散が既に減速し
たのか。或いは判断可能な
だけの検査が十分には実施
されていないのか。議論を
呼んでいます」。

2020年東京オリンピック
ツク・パラリンピック競技
大会組織委員会評議員会議
長を務める日本トップブリ
グ連携機構の川淵三郎会長
がIOC国際オリンピック
委員会のジョン・コーン委
員長に事務折衝の場
で、「日本には梅雨という
呼んでいます」。
「W.H.O世界保健機関がパ
ンデミックを宣言した現時
点でも、人口1万人当たり
の感染者数を比べると、我
が国は0.06人に留まつて
おり、韓国、中国の他、イ
タリアを始め欧州の13ヶ
国、イランなど中東3ヶ国
よりも少ないレベルに抑え
ることが出来ています」と
胸を張りました。

田中康夫 令和風景論



蓋然性が高い」と。
その不吉な13日の金曜
日、の翌日、日本国第98代
内閣総理大臣はNHK日本
放送協会の生中継に食い入
る全国津々浦々の老若男女
女に、「卒業生の皆さん、
卒業おめでとうございま
す。絆を大切にしながら、
これからもそれぞれの道で
大いに活躍されることを願
っています」と首相官邸か
つてています」と首相官邸か
つてています。

を乗り越えていきたいと考
えています」。理念と氣概
を併せ持つ優れた指導者に
不可欠な、視座の高い発言
も忘れていません。

「重症化してから命を救う？」軽症者には感染の有無を知らしむべからず？この破綻した意味不な「論理」展開こそ自笑、「意識高い系」の定石」と僕のコメント付きでリツイートする3万人以上が具体的に反応。御意が過半を占めるも、可及的速やかにCT検査かMR検査を受けるべき「医療

「社会の安寧」よ
唱和する「国民皆保険国家」

「社会の安寧」よりも「株価の維持」

厚生労働省。も「株価の維持」が国家公務員試験を受験免除で入省後に跳梁跋扈する「医系技官」のNo.3。斯くも絶望的な日出する国で1989年から30年以上、5つの雑誌を渡り歩いて現在に至る流浪の連載「憂国呆談」の相方で、京

者15人。致死率は11・5%に達しています。驚く勿れ、2002～03年に中国や香港で猛威を振るつたSARS重症急性呼吸器症候群の致死率12%と同等。因みに2009年新型インフルエンザA(H1N1)の日本に於ける致死率は0・16%です。

しかし而して欧州等38ヶ国からの日本国籍者を含めた入国

て早や8年目。共に無色・察知し得ぬ極めて厄介な代物の放射能とウイルスは「アンダーコントロールされている」と囁き、「進め」億火の玉だ」と「#Tokyoインパール2020」に猪突猛進する日本。次回は、「同調圧力」という「なんとなく」の空気を更に扱いましょう。

「業務停止1ヶ月の懲戒処分を受けた）中央大学法科大学院の野村修也教授が3月12日にツイートの文面を再録しよう。

「大量検査は医療崩壊を招き、救える命を見殺しにするだけ。今必要なのは軽症者を含む全ての国民が感染の有無を知ることではなく、重症化している人を見つけ出して命を救うことでクラスターを発見し、潰していくこと」。

店舗等の一時閉鎖で無給休暇に追い込まれる飲食業や宿泊業の時給労働者を始めとする国民にベーシック・インカム的発想で1人10万円の現金給付を3月中に行うドナルド・プランに与野党が賛同する太平洋の対岸。ひるがえり 翻つて、永田町で会議は踊る。蜻蛉洲のS NS上での「分断」の方が深刻かも知れません。

「ニッポン」はCOVID-19検査に関して未だに甲申台駄の思考停止状態。「需要側の不安」と向き合わず、「供給側の理屈」を振り翳す、「専門家」とは名ばかりな「識者」が過半を占める脇田隆字・国立感染症研究所長が座長の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議。

都造形芸術大学大学院学術研究センター所長の浅田彰氏と意見が一致したのは「敵を知り己を知れば百戦殆からず」の公理。その為には全国規模での感染率「早期調査」が不可欠。無作為抽出で47都道府県+20政令指定都市それぞれ数百人をPCR検査すれば、凡百の世論調査より遙かに正確な日本に於ける「パンデミック」の有無が判明するのですから。

段階で、逆に日本国旅券所持者への入国・入域制限を実施中の国・地域は89にも及ぶのです。

「近くで遠い国」として日本で知られる中国や韓国、台湾は疎か、「地球儀俯瞰外交」で「戦略的互恵関係」が構築されていた筈のイスラエル、インド、サウジアラビア、マレーシア、モンゴル等も含まれます。

「かわら」にも拘らず、「社会の安心」よりも「株価の維持」を国家の最優先課題に据え

「状況でない」卒業式 安全定通り」、産経「緊急宣言工夫し開催を」、東京「緊急事態現時点は否定 特措法・首相会見宣言要件示さず」、毎日「首相『緊急事態今はない』、読売「首相『緊急事態の状況でない』」。

「地球儀俯瞰報道」の視座を、脇見出し「米、非常事態で5兆円」でも示した日経との違いは明明白白。それは若しや、前掲のFT紙を含むフィナンシャル・タームズ・グループを2015年7月に買収した「ワイルド」の現れかと訝りしんでいると、卓越した「縫解き」を「スポーツ報知」紙上で発見。

「安倍首相 聖火リレーに立ち会いたい」と大見出しを振った社会面の「首相会見5つのポイント」で、「追加経済対策に意欲。具体策示さず」と一刀両断。SN上での人口に膚炎する「#

安倍しぐさを、選りに選つて読売新聞グループの媒体が教えてくれるとは！思えば「日刊スポーツ」も長寿連載「政界地獄耳」で洛陽の紙価を高めています。努力、スポーツ紙を見縊るべからず。「♪。ポスト・トウルース」な新型コロナウイルスを撒き散らしているのは民主党だ」と大口を叩き、「foreign virus 外来ウイルス」と侮蔑し、「後手後手」に陥つていたドナルド・トランプ政権は、株価暴落と軌を一にして君子豹変。

「我々は決してイタリアの轍を踏まない」、「中国と韓国の叡智に学び、現状からの回復・改善を果敢に目指す」。「嫌中・憎韓・従米」の脳な自称「愛国保守」クラスターの皆さんがあ思わず目を剥く大胆な方針転換を繰り返し表明します。

のみならず、「検査態勢充実」に向けての具体的の指

針を、感染防止の観点から
ホワイトハウス屋外のローブガーデンで東部時間3月
13日15時半に発表。2月29
日の前回と同じく土曜日に
設定された首相会見が官邸
の屋内で開催される半日以
上も前の出来事です。

1 (イスのバーゼルに
本社を置き、バイオ医薬品
分野で世界市場占有率1位
の) ロッシュ社が開発した
PCRスピード検査キット
を緊急承認。2民間医療保
険会社と連携してPCR検
査費用の自己負担をゼロに
用意周到に首相会見予定時
刻の半日前、166億円も
のコロナ対策費を緊急拠出
した日本へ阿諛追従した
彼は、豈圖らんや、その僅か
3日後の日本時間17日(火)

「供給側の理屈」を振り翳す「専門家」

3ウォルマート等の大手量販店と連携しドライブスルーチェンジ方式も導入 4検査場所へ誘導する特設サイトはグーグルが作成 5大手検査会社と共同検査体制を構築 6医療機関のベッド数規制を大幅緩和 7連邦政府予算で人工呼吸器の台数確保とICU集中治療室の増設に注力。するとWHOのテドロス・アダノム・ゲブレイエスス事務局長も、大西洋を隔ててジュネーヴのレマン湖畔で君子豹変。

振り翳す「専門家」

の丑三つ時に宣ったのです。
「目隠しをした儘では聞えない。一にも二にも、全ての国が検査に次ぐ検査を」。
標的国は誰の目にも明らかではありませんか。

日本国民の民度ならぬ「眼度」を高めるTV番組で、PCR検査こそ「医療

きや学者擬きの自称「意識高い系」クラスターの皆さんは茫然自失。然りとして「同盟国」の大統領に「トランプを切る」勇気はなく、「エチオピア人だから、所詮は」と上から目線な御託で憂さを晴らすチキン振り。

あのお、エチオピアのマラソン選手アベベ・ビキラがローマ大会に続いて東京大会でも金メダルを獲得した1964年に奇しくも、同じアフリカ大陸のタンザニアで発掘されたホモハイリスの化石こそ人類の起源の痕跡。即ち私達の先祖の地なんですけど何か?

少しく述べて3月9日、2時間以上に及ぶ首相公邸での会食に招かれた(大阪市特別顧問として橋下徹市長時代に市職員の政治活動・労働組合活動「思想調査」を主導するも、損害賠